

学校評価の結果と今後の改善について

栃木市立皆川城東小学校

保護者の皆様には、11月に実施いたしました学校評価において、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今年度も肯定的な回答をたくさんいただくことができました。

アンケートを教職員・児童のみなさんにも実施し、3者の回答を比較分析しました。成果や課題、今後の改善策について、職員会議で協議したものをまとめましたので、ご覧ください。

成果が見られたこと

以下の項目では、「とてもそう思う」「そう思う」との肯定的な回答の割合が高い傾向が見られました。



皆川わっしょいまつり



保護者ボランティア

①楽しい学校生活 学級づくり

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	100	94	95

②保護者・地域と連携した学校づくり

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	55		98

③小中一貫教育の充実

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	100		96

④思いやりの心・人権意識を高める指導

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	93	97	96

①楽しい学校生活・学級づくりについては、3者とも評価が高くなった項目です。教職員、保護者の皆様から見ても楽しく学校生活を送っている子どもの姿が伺え、児童自身も高評価となりました。しかし、少数ではありますが、否定的に回答している児童もいることを意識して、今後も一人一人の様子を全職員で見守っていきます。相談体制の工夫や楽しい学校、学級づくりのために今後も注力していきたいと思えます。

②保護者・地域と連携した学校づくりでは、保護者の皆様より高評価を得ました。保護者ボランティアについても有効との回答が96%と高評価であり、お忙しい中でも保護者の皆様のご理解、ご協力が得られていることに、深く感謝いたします。教職員の評価は低くなっていますが、本校のよさでもある地域素材や地域人材、保護者ボランティアをもっと活用できるとの思いからの評価であると考えられます。アシストネット、保護者ボランティアの協力を引き続き、お願いいたします。

③小中一貫教育の充実については、今年度もみながわ寺子屋や皆川わっしょいまつり等で、児童生徒との交流活動を行いました。自分から困っている人に声をかけたり、上級生が下級生の面倒を見たり、皆川子どもたちの関わりのスキルは非常に高いと感じています。皆川ブロック小中一貫教育のテーマ「自他のよさを認め、共に学び合う児童生徒の育成」のため、今後も子どもたちのよさを認知させ、自信をもって行動できるよう、育てていきたいと考えています。

④思いやりの心・人権意識を高める指導については、③の評価とも関連しますが、友達に対してやさしくしている、進んで関わるができる児童が多いと捉えることができます。人権教育月間や人権集会では、一人一人のよさを互いに認める場や、全校生での共遊、交流活動も行いました。今後も様々な異学年集団での活動を通して、思いやりの心、人権意識を高める指導を工夫していきたいと思えます。望ましい関わりのできる児童へは、積極的に褒め、自信を付けさせたいと思えます。

成果が見られたことについては、今後も保護者の皆様と連携しながら、子どもたちの姿を通して、さらなる充実を図ってまいります。

〈裏面もご覧ください〉

課題が見られたこと

以下の項目は、すぐに改善すべき課題と捉え、改善していきます。

① 考えを伝えたり質問したりする

② 家庭学習の定着

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	80	78	71

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	88	82	74

①については、児童が主体的に学ぶ授業づくりについて研究を続けております。また今年度から2年間配置されている学力向上推進リーダーは、日々の授業に入り、毎回授業の振り返りを行い、よい研修の場となっています。本校の児童の関係性はアンケート結果からも分かるように良好であり、グループでも意見を出し合いながら学習することができています。発言しようとする意欲も高く、苦手なわけではないが、自信をもてないのではないかと考えました。今後も児童が発言したくなる授業づくりを研究し、児童の考えを尊重し、自信をもてるような評価(褒めること)を心掛けていきたいと思っております。



授業参観の様子



人権集会

②について、どうすれば家庭学習の定着が図れるか、協議しました。本校では家庭学習の時間の目安として学年×10分を勧めています。この時間を児童にも確認し、振り返らせていきます。宿題については、やって当たり前ではなく、がんばってやったことが認められるよう、しっかりと評価し、達成感を味わわせたいと考えました。また一人一人の学習のめあてをもたせ、画一的ではなく自分に合った自主学習を勧め、高学年においては、中学校の定期テストのように、あらかじめテストする日や内容を知らせておき、計画的に家庭学習できるようにしていきます。自主学習については、がんばって続けている児童もいるので、自学ノートの紹介の場を設け、励みや参考となればと考えています。さらにタブレットも活用して、家庭学習の習慣化を図ってまいります。

その他のご意見から

- ・小中一貫教育、クラス替えがなく閉鎖的な環境が9年間続くことについて心配。⇒この環境を変えることは難しいですが、今後もクラス以外の交流の機会を意図的に設け、様々な集団で活動できるようにしていきます。
- ・子どもによって対応が違っていると聞いている。⇒児童一人一人の話をよく聞き、不満を抱えてしまいがちな児童や教師に気持ちを伝えることが苦手な児童もいることを念頭に置き、相談できる体制づくりや児童が納得のいく指導を行っていきます。
- ・自分からあいさつできない。⇒本校の児童は自分からあいさつをしている児童は多いと感じていますが、中には声を出すのは恥ずかしいなど、性格的なものもあると思われます。無理に声を出させる指導ではなく笑顔であいさつをすると気持ちがよくなること、相手にもよい印象を与え関係性がよくなることに気付かせていく支援が必要と考えました。まずは、あいさつをがんばっている児童を褒め、広げていきたいと思っております。
- ・地域の子どもの数が減って役員等が負担になる。⇒本校の児童数が減少している現状を踏まえ、持続可能なPTA体制、活動への変更は急務であると考えます。本部役員会等で、改善策について協議していきたいと思っております。
- ・5、6年になってから中学校へ目を向ける要指導していただいている。本人も自覚ができていますようでありがたい。⇒キャリア教育の点からも安心して進級、進学できるよう支援していきます。
- ・皆川のよいところ、地域と親と先生と一緒に育てていくこと。今後もよろしくお願いします。⇒皆川地区のよさですね。こちらこそ、引き続き、よろしくお願いいたします。
- ・下校時の車の迎えが多く、歩く児童が少ない。⇒徒歩での下校が可能な場合は、できるだけ徒歩下校へのご協力をお願いいたします。